

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成27年度 **上半期(4月～9月)** の管理運営状況)
年間 (4月～3月)

施設名	萩野センター	指定管理者	医療法人財団 暁
指定期間	平成25年4月1日から 平成30年3月31日まで	担当課	高齢者支援課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

分類		年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)
開館日数 (日)		244	137	56.1%
延べ利用者数 (人)		4000	1622	40.6%
自主事業	実施回数 (回)	11	127	1154.5%
	利用者数 (人)	152	880	578.9%
収入	指定管理料 (円)	13,908,000	6,954,000	50.0%
	利用料金収入 (円)	3,400,000	1,406,450	41.4%
	自主事業収入 (円)	3,888,000	580,900	14.9%
収入計 (円)		21,196,000	8,941,350	42.2%
支出	人件費 (円)	10,274,000	5,420,454	52.8%
	維持管理経費 (円)	7,034,000	2,434,170	34.6%
	自主事業関係経費 (円)	2,861,093	1,183,492	41.4%
	その他の支出 (円)	0	0	0.0%
支出計 (円)		20,169,093	9,038,116	44.8%
収支 (収入－支出) (円)		1,026,907	▲ 96,766	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)		
【開館日数・利用者数について】 開館日数は計画通りである。利用者数については計画より少ない状況にあるが、昨年度より改善がみられる。引き続き、啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 通所事業については自立している方を対象としたセンターであることに重点を置き活動内容を改善し実施した結果、利用者の自立意識が高まり、好評を得た。自主事業にもさらに力を入れ市民に期待される事業を展開していく。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好である。自主事業においては、昨年度の反省を活かし改善点を修正しながら利用者のニーズに応える企画を実施、収支状況は上向き傾向にある。
所管課の評価 (指摘事項)		
【開館日数・利用者数について】 計画通り開館されているが、利用者数については計画よりも下回っていることから今後も啓発・広報活動を行う必要がある。	【事業の実施状況について】 利用者に適した事業が実施されており、おおむね良好である。	【収支状況について】 通所事業の収支は良好であり、自主事業の収支については、上向き傾向であるが引き続き収支の改善を図る必要がある。

2 チェック項目

評価項目・評価事項 (数値目標)		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善	
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負わせていない	実地	適正・要改善	適正・要改善	
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善	
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善	
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善	
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善	
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善	
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善	
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善	
人員配置・人材育成等	事業計画書どおりの人員を配置している	5人	人員配置計画、実地、出勤簿	7人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どおりの職員の指導育成や研修を行っている	12回/年	研修マニュアル	実施回数6回 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報保護のための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）	<p>昨年度に引き続き、市との協議・指導を受けながら運用上の留意点の把握に努め、業務改善を図ることができました。通所事業においては、利用者のニーズに応え、満足して過ごして頂けるようなサービス提供に重きを置いたため、利用者数が上向きになりました。自主事業は広報掲載の効果、利用者からの口コミもあり、市民に定着しつつあります。市民の皆様に喜んでいただけるような企画、計画を作成する事に力を入れ収支バランスの適正化に努めながら継続的に運営をしていきます。</p>
市による所見（指摘事項など）	<p>通所事業については、利用者の状況に応じた事業内容の改善が見られ、利用者数も増加傾向である。自主事業については、事業概要や作品を分かりやすくセンター内に掲示をするなど、利用者の意欲向上につながる取組があり評価できる。</p> <p>今後も引き続き利用者を増やすための取組と、自主事業における収支バランスの適正化に努めるとともに継続的な運営をお願いする。</p>